

「イスタラフシャン市高齢者・障がい者サービスセンター機材整備計画」引渡し式

5月26日、宮下大使は、首都ドゥシャンベ市の北、約360kmにあるイスタラフシャン市を訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のスキームで実施された同市高齢者・障がい者サービスセンター機材整備プロジェクトの引渡し式に出席したところ、概要は以下のとおりです。

- 1 宮下大使は挨拶で、「イスタラフシャン市で初の高齢者及び障がい者支援プロジェクトが無事に完了したことを大変嬉しく思います。新しい調理用機材を使用して作られた料理が、人々の心を温め、さらに我々の友情も温めてくれることを願っています」と述べました。
- 2 総額10,052米ドルの本プロジェクトは、イスタラフシャン市の社会福祉サービス向上を目的として、我が国政府が資金を供与し、同市高齢者・障がい者サービスセンターにより実施されたものです。同施設は、利用者に無料で食事を提供していますが、これまでの厨房機器・調理用機材は故障のため使用不可能あるいは業務用でなかったために、十分な食事の提供に支障を来していました。今回新たに冷蔵庫や大型オーブン等が整備されたことによって、施設利用者に質の高い食事を提供することが可能となりました。
- 3 引渡し式にはアダム・マムルゾダ・イスタラフシャン市長をはじめ、大勢の地域住民が参席しました。マルムゾダ市長からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。



障がいを持つ子供たちと談笑する宮下大使



整備された調理機材を視察する宮下大使



市長及び地元住民との記念撮影